

OESP 23/03/2011

2010年に3100万人が社会階層を上がった。

所得分配の形はピラミッド型からひし形になった。

ブラジル人の社会経済的な階層分配はこの5年間で変化した。低所得者の割合が非常に大きい貧困国に特徴的なピラミッド型からひし形になった。この形は社会経済的な分配が社会階層間でよりつり合いが取れたものに近づいた形で、先進国によく見られる。

これが、フランスのBNPパリバ金融グループのBGNセテレムの依頼でIPSOS公共問題研究所により実施された消費市場分析の一つ、「O Observador Brasil 2011」調査第6版で確認できる主要な点である。

2005年から2010年の間における社会経済的階層分配の変化は、所得の増加が大きな社会的流動性をもたらしたことにより起こった。昨年だけで、ほぼ3100万人のブラジル人が社会的に上昇した。その結果、約1900万人がD・Eクラスから出て中間階層、Cクラスが大きく増えた。そして1200万人近くがCクラスから、より大きな購買力を持つA・Bクラスへ引き上げられた。

BGNセテレムのMarcos Etchegoyen会長は「もし来年D・EクラスとA・Bクラスの数が同じになっても私は驚かないでしょう」と話す。

調査によれば、Cクラスはすでに昨年、1億9170万人のブラジル国民の半分以上（53%）になっていた。Cクラスは2009年には49%、2005年には34%だった。

これに応じて、昨年は35%、2005年には51%だったD・Eクラスは2010年に25%になった。反対にA・Bクラスへの参入は増加しつつある。5年前には人口の15%。この数値は2009年に16%、昨年には21%へ上昇した

所得

同調査で他に際立った点としては、2010年は全クラスのブラジル人、特に最貧困層の可処分所得の利益が上がったことがある。可処分所得は全ての生活経費を支払った後家計に残るもので、低所得層の消費と基本的に同義のもの。

昨年は前年比60%増となる月平均368リアルが家計に残ったが、可処分所得の利益が最も大きかったのはD・Eクラスだった。BGNセテレムの

Miltonleise Carreiro Filho 副社長は「2010年には最貧層の可処分所得は100レアルを超えた」と指摘する。昨年、同階層の可処分所得は2009年から70%伸びて104レアルに達した。

Carreiro Filho 氏の計算では、最貧困層が自由に消費できる可処分所得は最大で約14億レアルとなっている。彼はまた、長年の間にD・Eクラスの可処分所得が劇的に変化したことを思い出す。2005年にはこの階層の可処分所得は17レアルの赤字、つまり月の出費を賄うのに不十分だった。「生計が立たなかった」。

最貧困層に続いて最裕福層のA・Bクラスについては、2010年の可処分所得の伸びは2009年の46%、680レアルから991レアルと過去最高額を記録した。同時期、中間階層の可処分所得の利益はより少なかった（最も少なかった）。Cクラスの2009年の可処分所得は204レアル、昨年は243レアルで19%の伸びだった。

## 楽観

BNP パリバが行った13カ国の調査の中で、2010年はブラジルが最も国民の評価が高かった。10段階でブラジルは6.8点を獲得、ドイツより1ポイント高かった。

## 消費動向は全ての品目で伸長

消費者、特に最貧困層の考え次第で、政府は今後数カ月以内に消費を冷ますために貸し付け（クレジット）を大きく引き締めるだろう。BNP セテレムの「O Observador Brasil 2011」調査では、今年の消費動向が全ての品目に対して最も好調であると Miltonleise Carreiro Filho 同社副社長は指摘する。

調査対象の12消費品目すべてが今年、前年と比べ国民平均で購買動向の伸びを記録した。しかし同氏によれば、注目すべき点は、今年のD・Eクラスの購買動向において自動車、オートバイが昨年から80%増えていることだ。一方、今年の不動産の購買動向において伸びたのは唯一A・Bクラス（43%）だけだった。

国民平均では、2011年に最も消費が伸びるのは購買動向が40%の家具。続いて再び伸びるのは購買動向38%の家庭電気製品だ。同役員はこの結果について、近年のブラジル経済の中で起こっていることと密接に結びついているとする。不動産販売の大幅増の後で、国民は新しい家の家具を備えようとしている。

第6版となるこの調査は国民の74%を占める16歳以上の1500人に聞き取りを行った。アンケートは政府が消費冷却のためマクロプルデンシャルな措置をとったすぐ後、12月24日から31日の間に、ブラジル国内の人口2万人以上の70市で実施された。

クレジット市場でクレジットカードや消費者への融資など多くの商品を持つBGN セテレムの Marcos Etchegoyen 社長は、1月にも2月にも融資販売における消費が冷却されたとは気付かなかったと語った。

また同氏は、調査結果からは債務不履行増大や未返済リスクを示すいかなるデータも見られなかったとも語った。

Cクラスの拡大  
社会階層の移動  
国民の分配\*

単位：100万人

社会階層	2005年	2010年
A/B	26,421,000	42,195,000
C	62,702,000	101,651,000
D/E	92,937,000	47,949,000

可処分所得\*\*

社会階層	2009年	2010年	2009年に対して
A/B	R\$680	R\$991	46%
C	R\$204	R\$243	19%
D/E	R\$61	R\$104	70%
全体	R\$230	R\$368	60%

\*収入、資産、教育を含めて購買力を考慮したブラジルの階層区分の基準。

\*\*可処分所得は家計全体から全ての経費を引いたもの

出典：O OBSERVADOR BRASIL 2011/ CETELEM BGN e IPSOS PUBLIC AFFAIRS

2010年に対する2011年の購入希望の変化

単位：パーセント

商品	A/B	C	D/E
家具	9	11	26
家庭電気製品	19	0	23
レジャー・旅行	4	0	20
携帯電話	5	4	40
テレビ・ビデオ	26	24	25
自宅用コンピュータ	50	0	0
装飾	25	35	25
自動車	-7	-14	80
日曜大工用の工具	7	50	57
不動産	43	0	80
スポーツ器具	-8	-25	20